

決算説明資料

2023年3月期 第2四半期

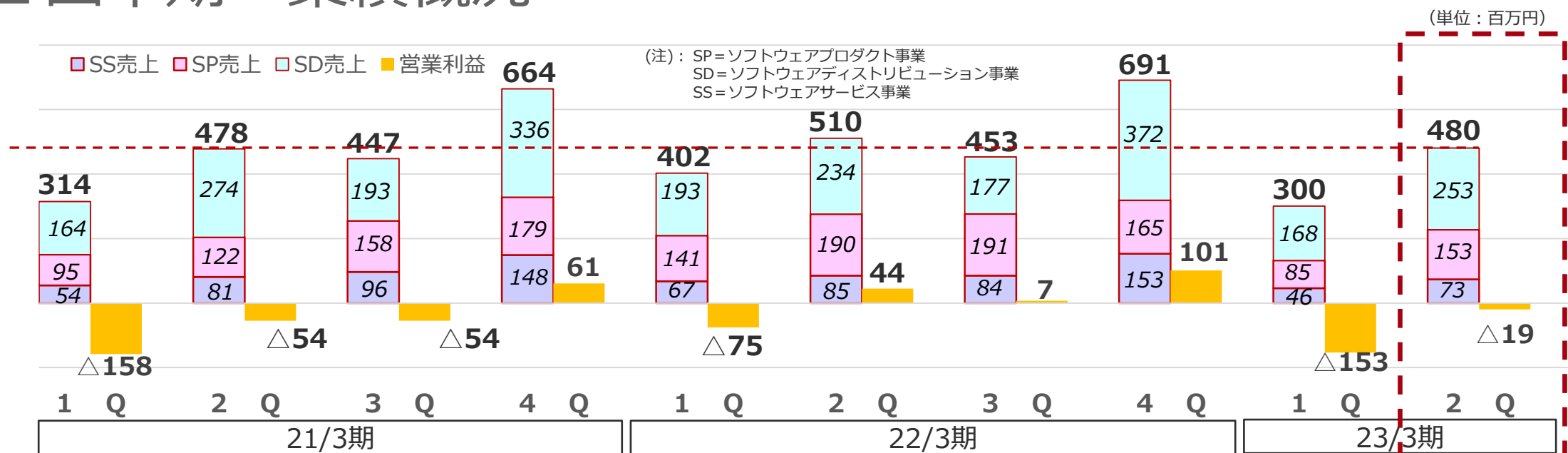
株式会社ユビキタスAI
代表取締役社長 長谷川 聡
2022年11月14日

Index

- 第2四半期業績 概要
- セグメント及び製品分野別動向と取り組み
- トピックス

第2 四半期業績 概要

第2四半期 業績概況



- ・ コロナ禍及びロシア・ウクライナ情勢の影響により、売上高・営業利益ともに前年同期を下回り、コロナ禍の影響を大きく受けた21/3期の業績と同水準に

- 連結売上高：781百万円（前年同期比：14.4%減）、連結営業損失：172百万円（前年同期営業損失：30百万円）

- セグメント別概況

ソフトウェア
プロダクト事業

売上高
営業損失

239百万円
73百万円

前年同期において、セキュリティ関連製品が車載機器関連の既存顧客から大口案件の売上・利益を計上したこと、及び組織再編による人員増加により、売上高・営業利益ともに前年同期を下回る

ソフトウェア
ディストリビューション事業

売上高
営業損失

421百万円
91百万円

車載機器関連等のロイヤルティ売上が微減となったものの、組織再編による人員減少により営業損失は対前年同期比で改善

ソフトウェア
サービス事業

売上高
営業損失

119百万円
7百万円

受託開発案件の期ズレ、車載機器関連のロイヤルティの減少により売上高・営業利益ともに前年同期を下回る

コロナ禍及びロシア・ウクライナ情勢による当社業績への影響

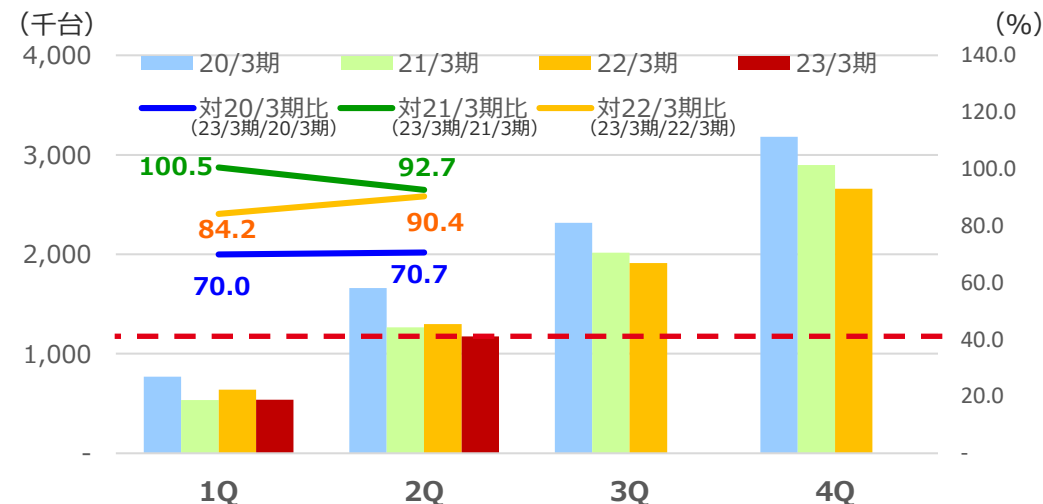
■ 車載機器関連

- 国内自動車販売台数は、第1・当第2四半期とも前年同期を下回る
- 当社の車載機器関連売上も同様に推移

■ 新規案件

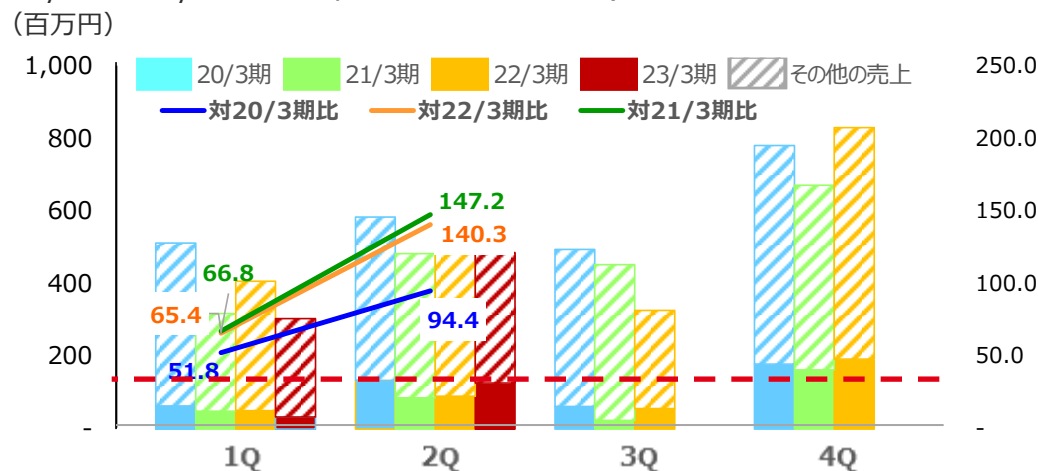
- 第1四半期は前年同期を下回ったものの、当第2四半期では前年同期を上回り、コロナ禍前の20年3月期と同水準となる
- 新規問い合わせ・引き合いも増加基調

【20/3期~23/3期 自動車国内販売台数の推移】

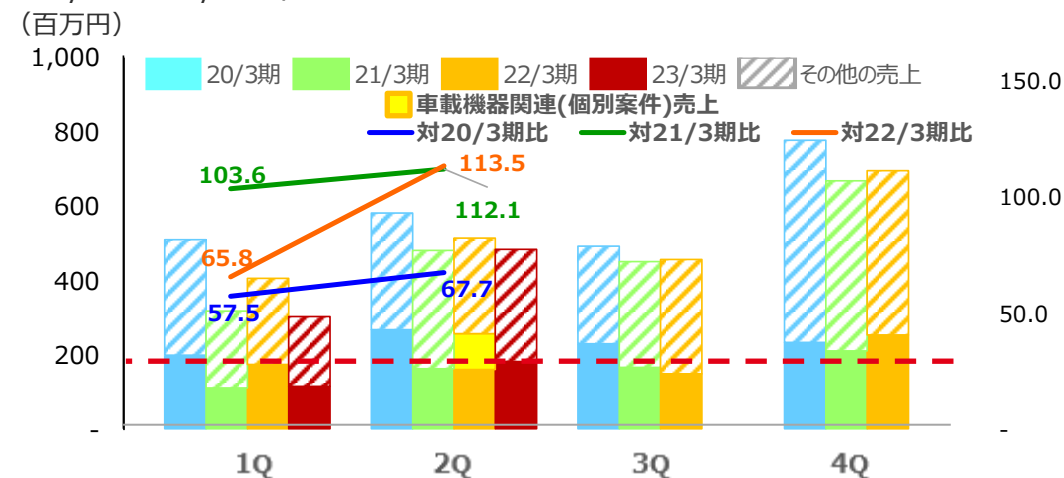


出典:一般社団法人 日本自動車販売協会連合会「新車・月別販売台数(登録車)」を基に作成

【20/3期~23/3期 新規案件（契約時一時金）売上推移】



【20/3期~23/3期 車載機器関連売上推移】



前年同期比:セグメント及び製品分野別売上高

(単位:百万円)

セグメント	分野	23/3期 2Q (連結)	22/3期 2Q (連結)	増減率	20/3期 2Q (連結)	増減率
ソフトウェア プロダクト事業	コネクティビティ&セキュリティ&OS	36	107	△66.3	72	△49.8
	高 速 起 動	174	177	△1.7	189	△7.9
	デ ー タ ベ ー ス	28	46	△38.9	33	△14.3
	小計	239	332	△27.9	295	△18.9
ソフトウェアディストリビューション事業		421	427	△1.4	617	△31.7
ソフトウェアサービス事業		119	152	△21.6	171	△30.0
合計		781	913	△14.4	1,084	△27.9

前年同期比:セグメント別売上及び利益

(単位: 百万円)

		23/3期 2Q (連結)	22/3期 2Q (連結)	増減額	20/3期 2Q (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	239	332	△92	295	△55
	セグメント利益	△73	78	△151	46	△120
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	421	427	△5	617	△195
	セグメント利益	△91	△127	36	※1 △55	△35
ソフトウェアサービス事業	売上高	119	152	△33	171	△51
	セグメント利益	△7	18	△26	※2 △31	23
合計	売上高	781	913	△131	1,084	△302
	セグメント利益	△172	△30	△141	※3 △40	△132

(注) ※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 53百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 51百万円を含めております。

※3 上記ののれんの償却額 105百万円を含めております。

前年同期比:セグメント別売上及びのれん償却前利益

(単位:百万円)

		23/3期 2Q (連結)	22/3期 2Q (連結)	増減額	20/3期 2Q (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	239	332	△92	295	△55
	セグメント利益	△73	78	△151	46	△120
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	421	427	△5	617	△195
	セグメント利益	△91	△127	36	※1 △2	△88
ソフトウェアサービス事業	売上高	119	152	△33	171	△51
	セグメント利益	△7	18	△26	※2 20	△28
合計	売上高	781	913	△131	1,084	△302
	セグメント利益	△172	△30	△141	※3 64	△237

(注) 22/3期との比較利便性を考慮し、

※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 53百万円を含めておりません。

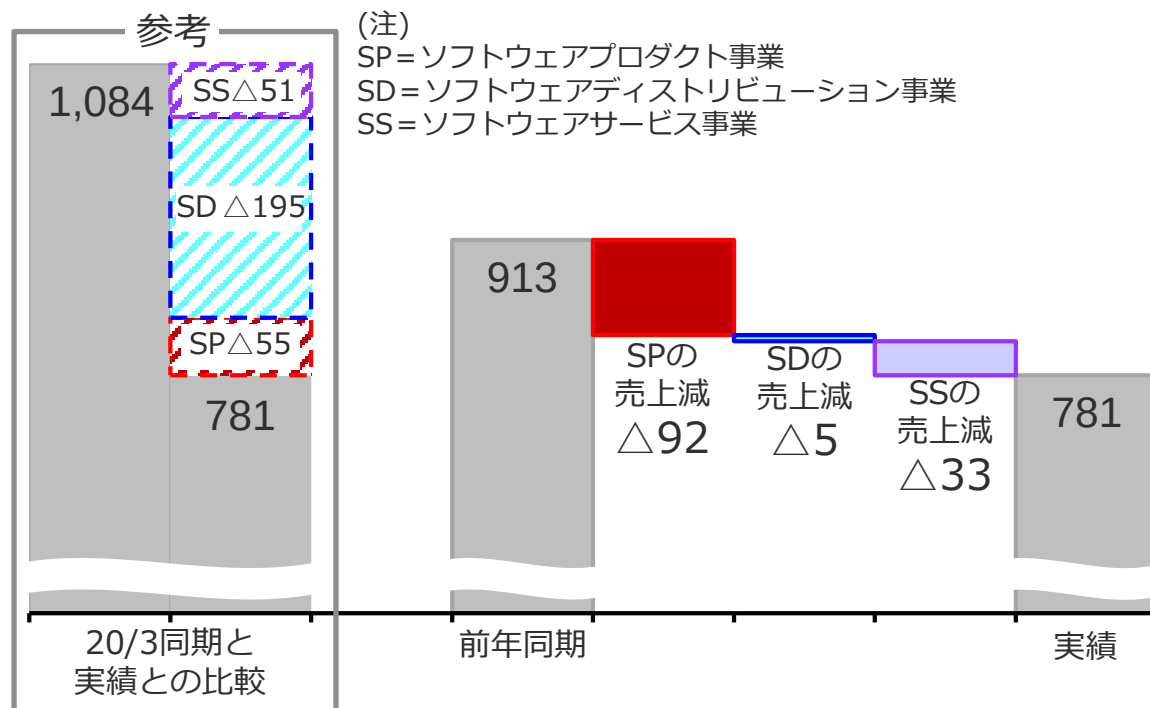
※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 51百万円を含めておりません。

※3 上記ののれんの償却額 105百万円を含めておりません。

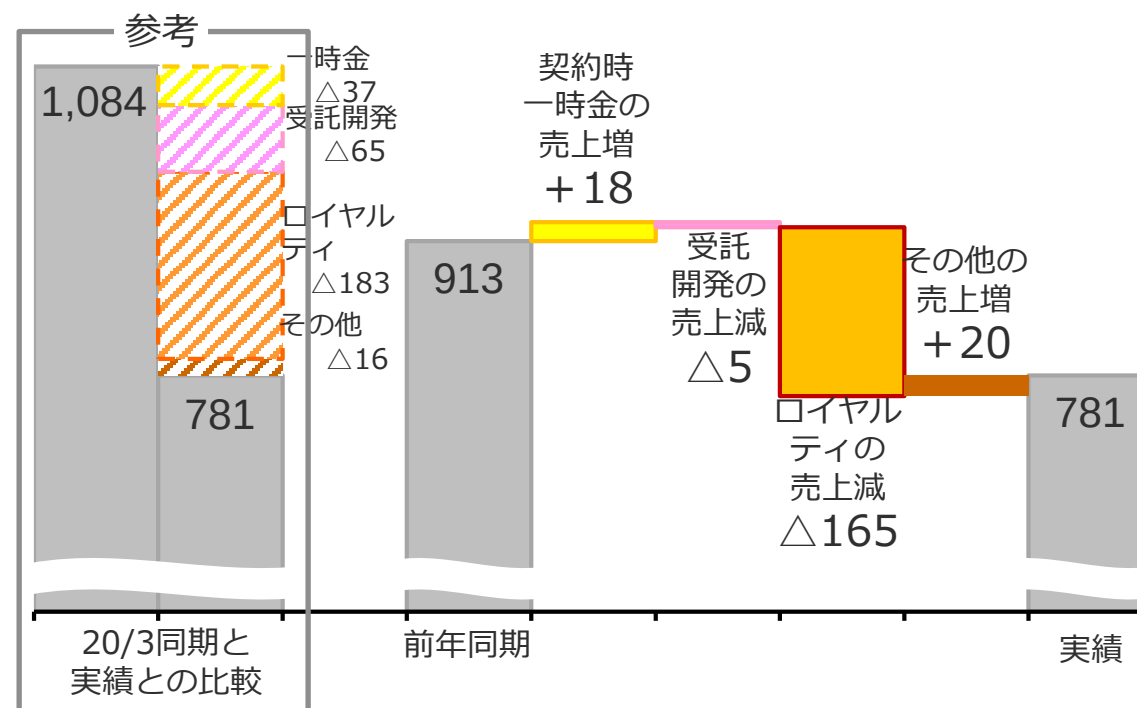
前年同期比：売上高

(単位：百万円)

事業別



形態別

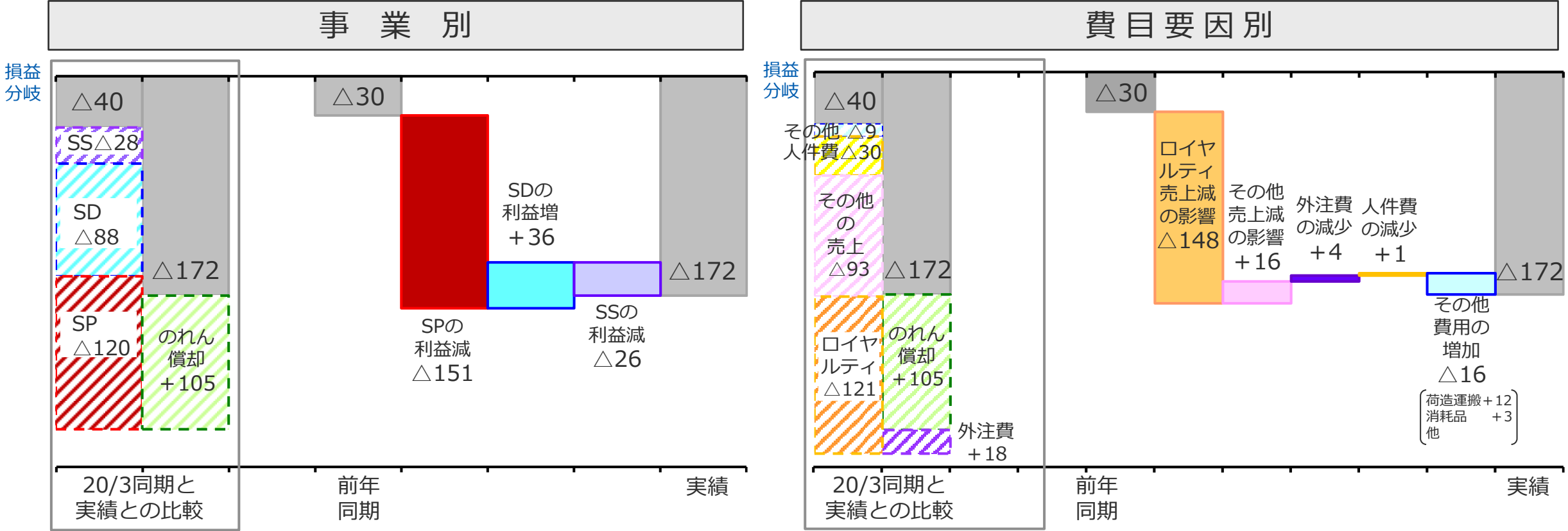


■売上高：22/3期を下回り、コロナ禍の影響を大きく受けた21/3期と同水準に

- ・ SP事業：前年同期にセキュリティ関連製品で車載機器関連既存顧客からの大口ロイヤルティ案件売上計上があり減少
- ・ SD事業：契約時一時金売上は増加も、ロイヤルティ売上が減少
- ・ SS事業：車載機器関連のコンテンツライセンスが減少、受託開発案件の期ズレもあり減少

前年同期比：営業利益

(単位：百万円)



■売上高同様、22/3期を下回る

- 前年同期にセキュリティ関連製品で車載機器関連既存顧客からの大口ロイヤルティ案件売上計上があり減少
- SD事業の一部をSP事業へ移管したことに伴い、対象部門の人件費が各部門の損益に反映
- 費用面では、事業所移転・集約費用等が増加

連結損益計算書

(単位：百万円)

	23/3期 2Q	22/3期 2Q	増減	20/3期 2Q	増減
売上高	781	913	△131	1,084	△302
売上原価	494	493	1	602	△107
売上総利益	286	419	△132	481	△194
販管費	459	450	8	522	△62
営業利益	△172	△30	△141	△40	△132
営業外損益	9	7	2	2	6
経常利益	△163	△23	△139	△37	△125
特別損益	-	-	-	-	-
法人税等	3	0	2	16	△13
四半期純利益※	△166	△24	△142	△54	△112

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

連結貸借対照表（資産の部）

（単位：百万円）

	22/9月末	22/3月末	増減
現金・預金	570	705	△134
受取手形・売掛金・契約資産	385	652	△267
有価証券	1,000	1,000	-
棚卸資産	11	0	11
前払費用	41	43	△2
その他流動資産	41	27	14
流動資産	2,050	2,428	△378
固定資産	613	546	67
資産合計	2,664	2,974	△310

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

（単位：百万円）

	22/9月末	22/3月末	増減
買掛金	85	153	△68
未払金	66	32	33
契約負債	87	97	△9
その他流動負債	51 ※	164	△112
流動負債	290	448	△157
固定負債	97	84	13
資本金	1,483	1,483	-
資本剰余金	1,453	1,453	-
利益剰余金	△792	△626	△166
その他純資産	132	131	0
純資産	2,276	2,442	△165
負債・純資産合計	2,664	2,974	△310

※、本社移転・集約に係る資産除去債務を含めて表示しています。（22/3月末 79百万円）

通期業績予想（連結）に対する進捗

(単位：百万円)

	通期 業績予想	第2四半期 実績	進捗率 (%)
売上高	2,152	781	36.3
営業利益	5	△172	—
経常利益	5	△163	—
純利益	3	△166	—

セグメント及び 製品分野別動向と取り組み

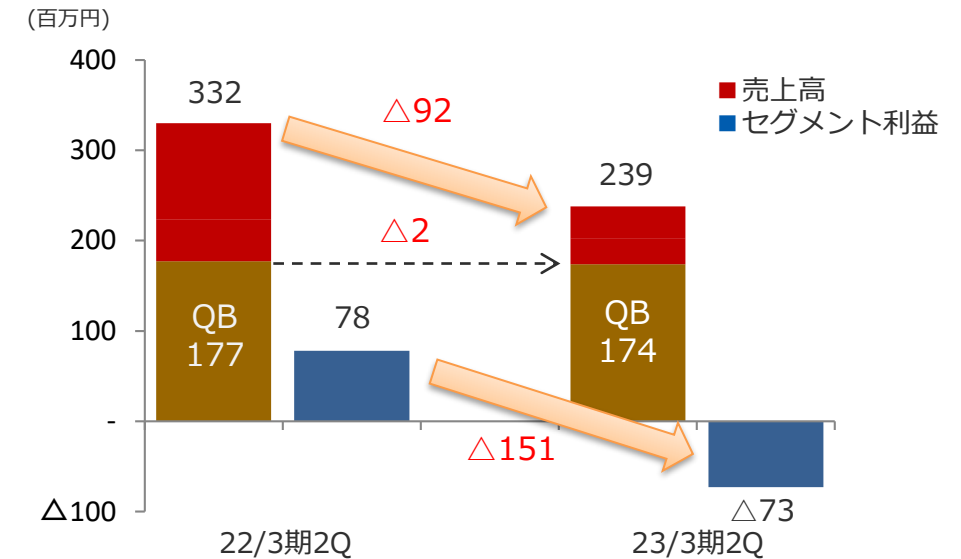
ソフトウェアプロダクト事業 高速起動関連

■当四半期概況

- ・国内外の車載機器関連、海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上
- ・カーナビ等の車載向け機器を中心に複数社との間で大・中規模の開発案件が継続中

■取組方向性

- ・車載情報端末以外の車載機器向けの拡販
- ・海外市場拡販及び必要なプラットフォーム対応の推進
- ・高速起動技術による電子機器の待機電力ゼロへの応用とカーボン・ニュートラル実現手段としての訴求による拡販



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上・利益です。



ソフトウェアプロダクト事業 コネクティビティ、セキュリティ & OS関連

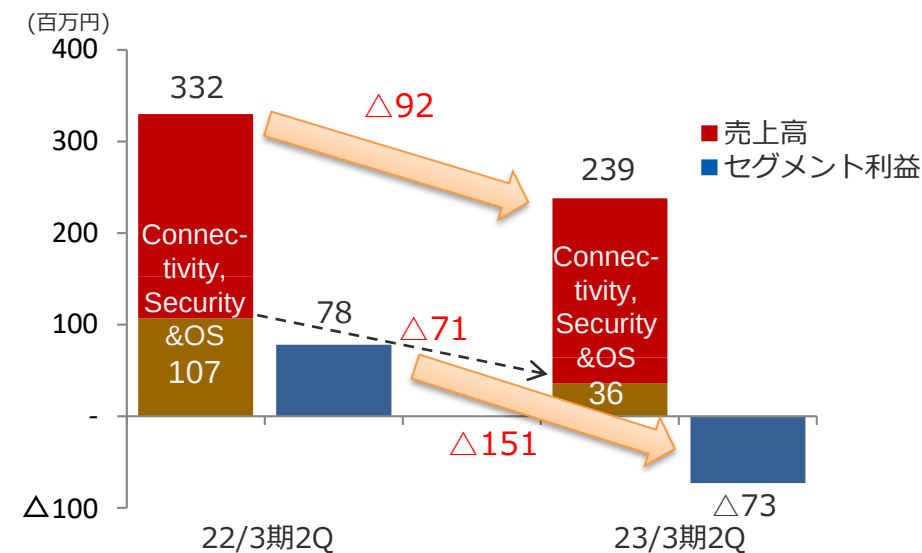


■当四半期概況

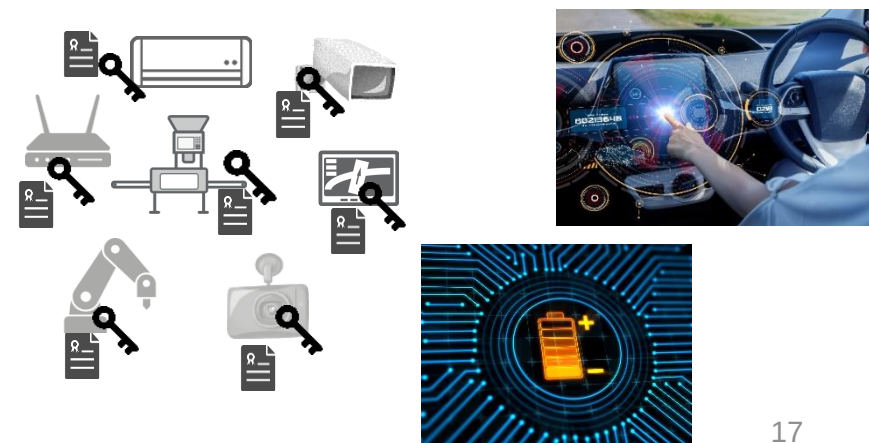
- コネクティビティ及びセキュリティ製品において、車載機器関連の既存顧客からの契約時一時金売上を計上
- リアルタイムOS関連製品において、医療機器関連の新規顧客からの契約時一時金売上を計上

■取組方向性

- IoT機器の開発期間短縮を実現するソフトウェアパッケージ「Ubiquitous RTOS IoT Enabler」の拡販を推進
- リアルタイムOSの優位性である省電力を達成することによるカーボンニュートラル社会の実現を訴求
- IoT機器のセキュリティ脆弱性への懸念の高まりに伴うセキュリティ製品の価値訴求と拡販
- 自動運転の普及に伴うキャビン・エンターテインメントにおけるプレミアムコンテンツ再生のために必要なセキュリティ製品の開発・販促強化
- 次世代インターネット通信及びセキュリティ規格の普及を見据えた研究開発



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、コネクティビティ、セキュリティ&OS関連のみの売上・利益です。



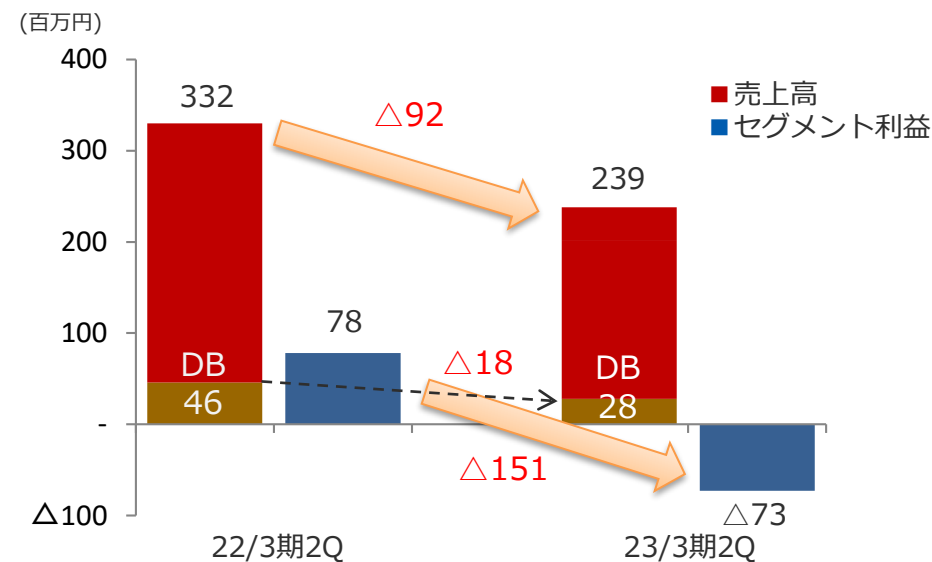
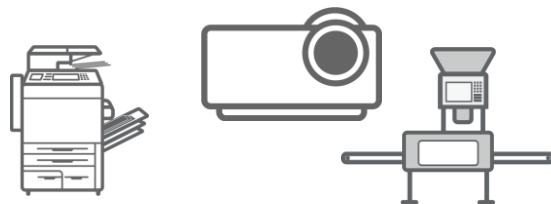
ソフトウェアプロダクト事業 データベース関連

■当四半期概況

- 産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

■取組方向性

- 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器等に向けた拡販



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上・利益です。

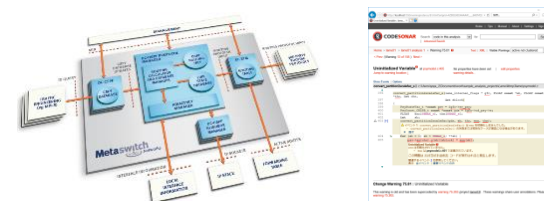
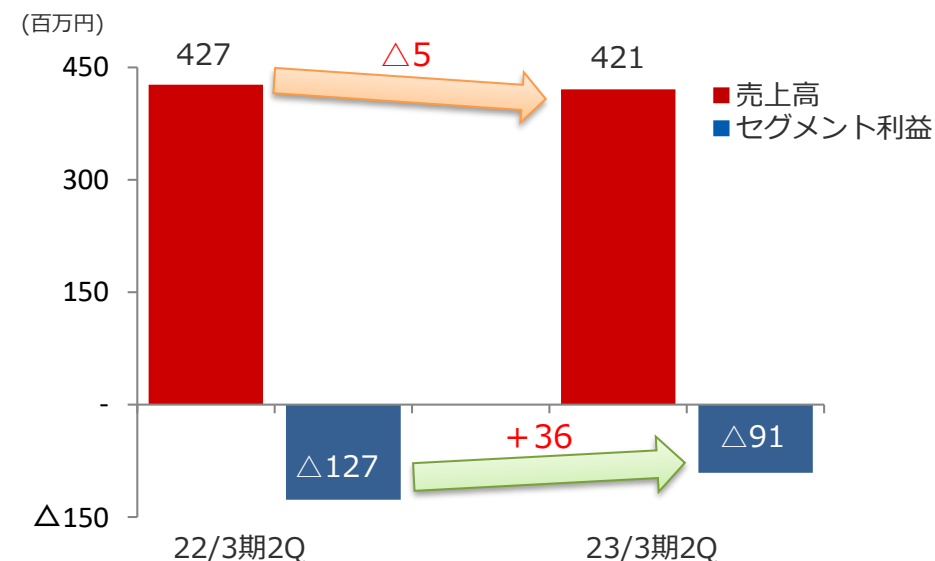
ソフトウェアディストリビューション事業

■当四半期概況

- BIOS製品「InsydeH2O[®]*₁」、ワイヤレス製品「Blue SDK*₂」、ソフトウェア品質向上支援ツール製品「CodeSonar*₃」、キャリアアップグレード製品「ConfD*₄」、セキュリティ製品「HE-CRYPTO*₅」等のライセンス及びロイヤルティ売上を計上。
- ソフトウェア品質向上ツール、IoTセキュリティ検証ツール&サービス関連売上等を中心に、新規・既存顧客からの売上を計上

■取組方向性

- サイバーセキュリティ対策の需要に対応した、検証ツールとサービスの提供及び対応アプリケーションの拡充
- 大規模化するソフトウェア開発の自動化、効率化と高品質化を実現するツール・セキュリティ製品の獲得・販売
- 高付加価値のコンサルティング・サービス及びサポートの提供による収益力の強化
- EVの普及に伴う部品の電子化加速を睨んだ製品の獲得・販売を強化



*1 InsydeH2O[®]: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS

*2 Blue SDK: Bluetoothプロトコルスタック

*3 CodeSonar: ソフトウェアの不具合を静的に検出することができる解析ツール

*4 ConfD: オンデバイスネットワーク機器管理ソフトウェア

*5 HE-CRYPTO: 組込み向け暗号ライブラリ

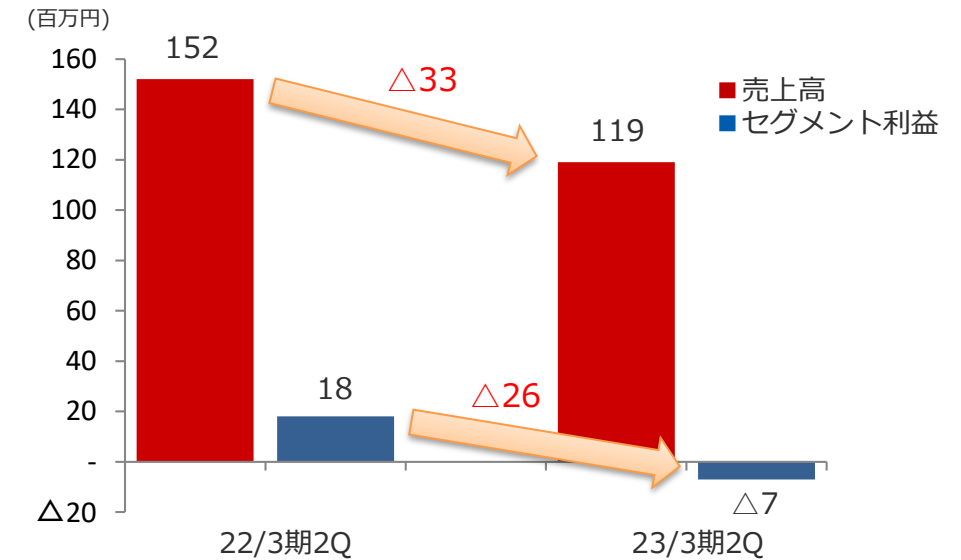
ソフトウェアサービス事業

■当四半期概況

- ・ 既存顧客からの各種受託開発売上を計上
- ・ データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライセンス使用料売上等を計上

■取組方向性

- ・ 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的確保と、協業提案による新たな取り組み
- ・ 既存顧客・パートナー案件に加え、グループの製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サダマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウヨクミ

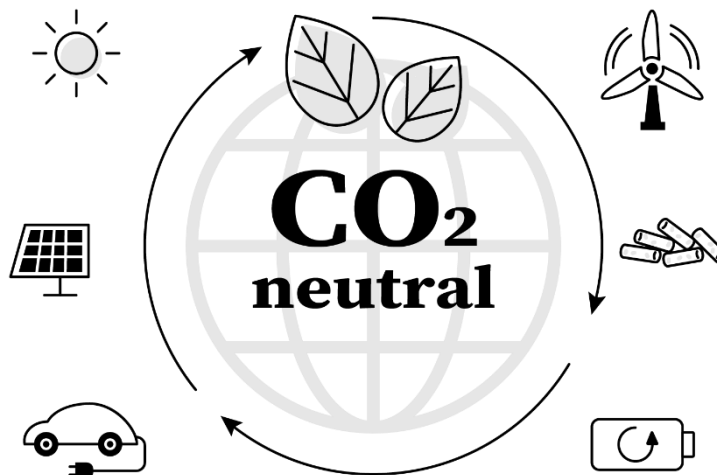
アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

注力テーマ：カーボンニュートラルへの貢献

2030年には300～400億台が普及していると言われるIoT機器において、当社の提供する技術・商品が1台あたりの電力消費を抑えることによって膨大な電力量の削減につながりカーボンニュートラル社会の実現に貢献



起動時間を短縮するために機器の電源を完全に切ることが出来なかった問題を、高速起動ソリューション QuickBootによる起動時間短縮によって待機電力ゼロを実現。



組み込みLinuxベースで設計されたIoT機器をリアルタイムOSベースのRTOS IoT Enablerに置き換えることによって省リソースで動作する省電力のシステムを実現。



肥大化したAIのモデルを最適化することでCPUやGPUの稼働率低減に寄与。対象によってはGPUが不要となり、一層の電力使用量の削減を実現。

AI技術で通信データを圧縮し、通信時に発生する電力量を抑制。



注力テーマ:進化する自動車開発に必要な製品ラインアップの充実

CASE(Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric)
への進化を幅広いソフトウェアソリューションでサポート

インフォテインメント/情報系ソフトウェア開発

高速起動

Ubiquitous QuickBoot

コネクティビティ

Ubiquitous Wi-Fi SDK

Bluetooth SDK (BlueSDK)

USBプロトコルスタック (HE-USB)

ハイパーバイザー

COQOS Hypervisor SDK/SafeG

セキュリティ/暗号ライブラリ

Ubiquitous Securus

Ubiquitous DTCP / HDCP

Ubiquitous TPM Security

暗号ライブラリ (HE-CRYPTO)

ドライバーモニタリング

CoDriver

ストレージ

Ubiquitous DeviceSQL

電断対応ファイルシステム
(Reliance Nitro/FlashFX)

SD/SDIOドライバー

スマートフォンミラーリング

Ubiquitous Miracast SDK

Mirroring SDK

社内ボイス環境構築

車載専用ノイズ/エコーキャンセラー
(BdSound S2C-A)

インフォテインメント

Gracenote CDDDBポーティングサービス

YOMIデータコンテンツライセンス

OTAアップデート

OMA-DM、LWM2M クライアント

ECU/制御系ソフトウェア開発

車載ネットワーク/ECU向け

ISO26262 ASIL-D対応車載統合ECU向けハイパーバイザー
(COQOS Micro SDK)

暗号ライブラリ (HE-CRYPTO)

TLS (Ubiquitous TLS、HE-TLS)

IPSec (HE-IPSec)

品質向上支援/開発支援ツール

ランタイムエラー静的検出ツール (CodeSonar)

ソフトウェアコンポジション解析 (CodeSentry)

ECUタイミング検証 (chronSUITE)

カバレッジ測定 (Testwell CTC++)

ECU開発シミュレーションツール (GSIL)

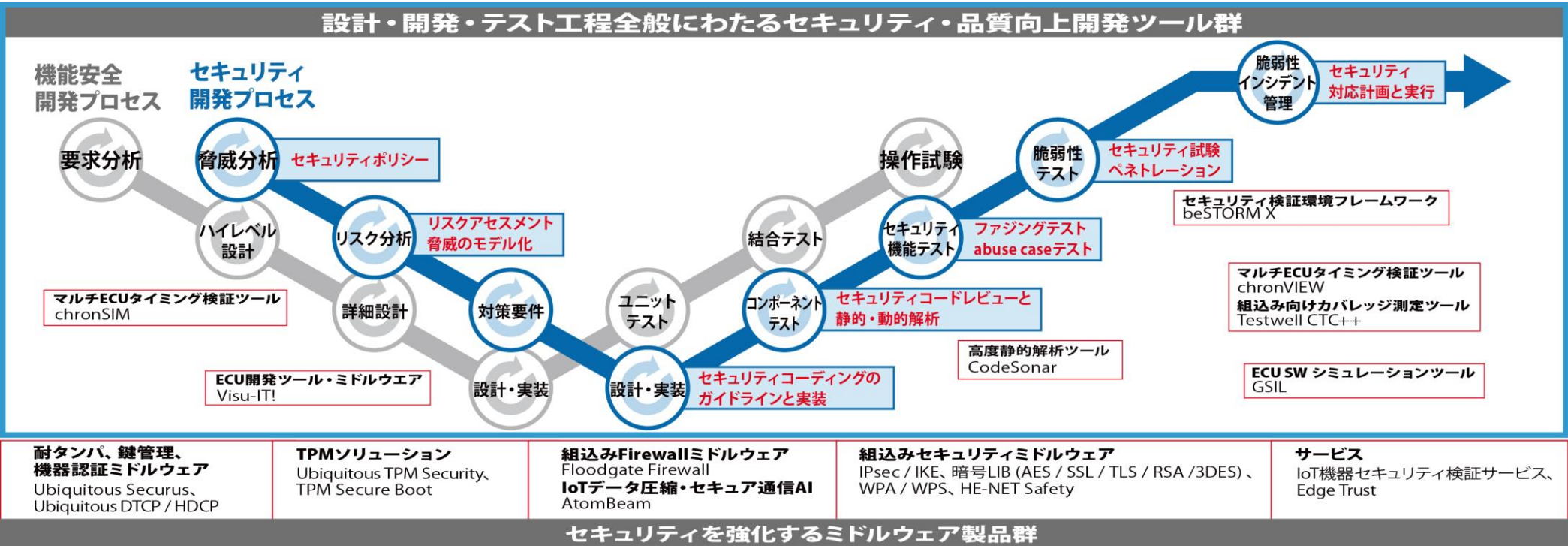
ECU変数管理システム、ミドルウェア (Visu-IT!)

脆弱性・セキュリティ検証フレームワーク (beSTORM)

注力テーマ：IoTセキュリティ需要への対応

サイバーセキュリティ対策のために必要な、製品開発プロセス全体をカバーする様々なセキュリティソリューションが現在と将来の課題を解決

- コード解析・品質向上ツール
- 脆弱性検証ツール・サービス
- ECU開発シミュレーションツール
- 暗号化ライブラリ
- デバイスライフサイクルマネジメントサービス



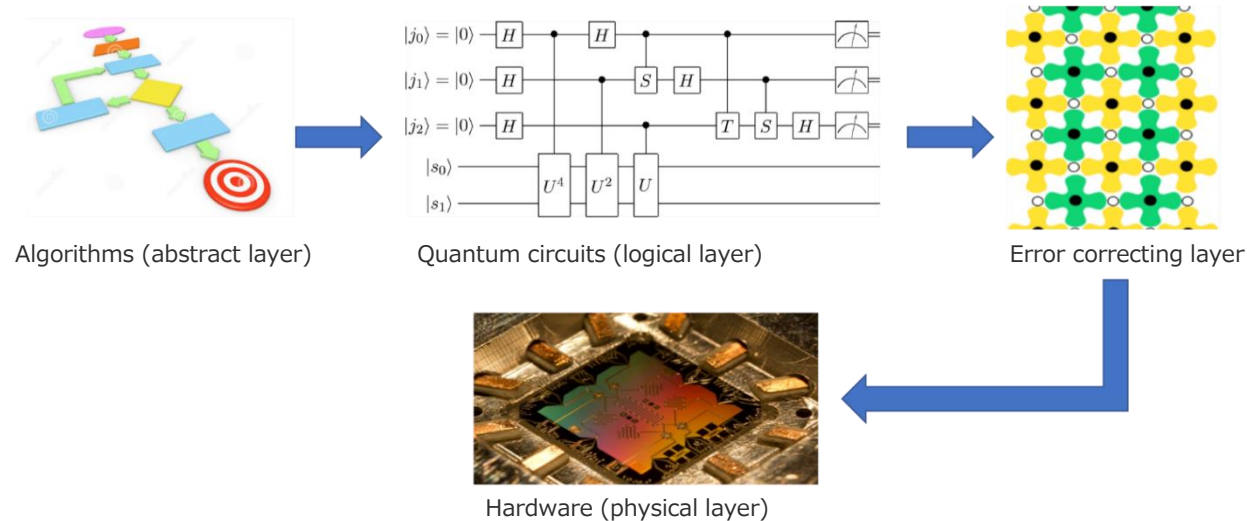
トピックス

softwareQ社と販売代理店契約を締結 (8/9) 量子コンピューター向けコンパイラとシミュレーター提供開始

量子アルゴリズムをオープンソースのコンパイラで最適化

■設計・実装・コンパイル時の最適化が難しい などの問題を抱える量子コンピューター

- staq
動作環境に非依存、環境にあわせて実装アルゴリズムを最適化する、オープンソースをベースとした、量子ソフトウェアの最適化とコンパイルのためのツール
- Quantum++
コンパイルしたソフトウェアのシミュレーションツール



量子ソフトウェアスタックの最適化イメージ

ECU制御ソフトウェア開発者向け学習パッケージ 「GTrainer」を9月1日に販売開始（9/1）

5日間でECU制御ソフトウェア開発者を育成

■ ECU制御ソフトウェア開発未経験エンジニアでも効率よく学べる学習パッケージ

- PC上でECU制御ソフトウェア開発が学ぶことができ、ハードウェア環境は不要
- 初心者でも約5日間で開発現場に入れるレベルに育成
- 自己学習で学べ、教育側の手間がかからない
- 問題集に沿って進める演習形式のため、時間や場所を問わずに学習
- GSILの特長であるデバッグの容易性を活かして、効率よく学習



製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ 新たに8つの企業・団体が賛同

「HEXAGON」への賛同企業・団体は計24企業・団体に

■新たな8つの賛同企業・団体

- ・アルサーガパートナーズ株式会社
- ・株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ
- ・公益財団法人北九州産業学術推進機構
- ・福岡県ベンチャービジネス支援協議会
- ・三井住友信託銀行株式会社
- ・Headline Asia・IVS株式会社
- ・株式会社pluszero
- ・株式会社ハートビーツ



+ zero



アルサーガパートナーズと国内スタートアップ企業支援・連携 について合意（10/25）

「HEXAGON」を活用して国内スタートアップ企業の製品・サービスを提供

■スタートアップ・ベンチャー企業との関係強化

- 多くのコンサルティング実績と国内スタートアップ・ベンチャー企業の支援実績を持つアルサーガパートナーズ社との連携
- HEXAGONを通じて、アルサーガパートナーズが支援する国内スタートアップ・ベンチャー企業の先端テクノロジーを使った製品やサービスを提供
- これまでとは異なる新しい形のパートナーシップやビジネスの構築も模索



Headline Asia・IVSと製造業向けビジネスに取り組む スタートアップの支援で連携（10/27）

「HEXAGON」を通じた販売機会の提供でスタートアップの成長を加速

■Headline Asiaと経営者限定カンファレンス「IVS」を 運営するIVS社との連携がスタート

- シードステージの有望企業やスタートアップの登竜門ピッチイベント“IVS LAUNCHPAD”参加企業との接触機会が増えることで、これまで以上多種多様な製造業向けの最先端テクノロジーを活用した製品やサービスを顧客企業へ提供
- スタートアップとの共同開発などにも積極的に取り組む



製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」 新たに賛同企業 1 社のサービスの取り扱いを開始（10/31）

パラレルワールド社「ちご塾」「マインドセットセミナー」

■管理職・リーダー向け「ちご塾」、 経営幹部・管理職向け「マインドセットセミナー」

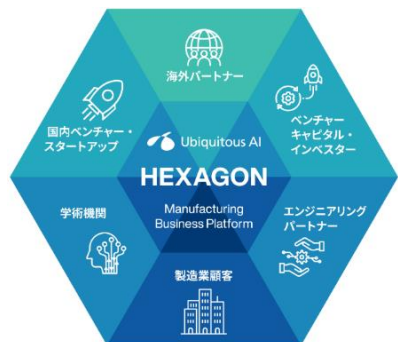
- ちご塾
セミナー・コーチングをセットにした管理職・リーダー育成のための1年間のプログラム。「良い話を聞いた」という段階に留まらずに、着実に継続的な成長を実現
- マインドセットセミナー
社員のマインドセットを「外向き思考」に変え、組織のパフォーマンスを向上させるためのセミナープログラム

・管理職・リーダー向け
「ちご塾」
管理職・リーダー育成のためのセミナー・コーチング

・経営幹部・管理職向け
「マインドセットセミナー」
社員の「内向き思考」を「外向き思考」へ



HEXAGON Update - 取組状況



- 賛同企業・団体： **25** (2022/11/14現在、HEXAGON発表2022/6/22, 4ヶ月半、一部連携団体含む)
- ベンチャーキャピタル、スタートアップ支援企業からのご紹介によるスタートアップとの販売提携・事業連携が進行中
- 将来的な賛同・連携を視野に入れた学術機関との連携協議を実施中
- スタートアップの製品・サービス販売を10月より開始 (発表前実施済みを除く)



+ zero

SASSOR

ACCORD VENTURES



FFGベンチャービジネスパートナーズ



25



賛同

連携

NCES



metatechno



Encourage Inc.



Appendix

2022年3月期 第2四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第2四半期	8月9日	■ softwareQ社と販売代理店契約を締結 量子コンピューター向けコンパイラ「staq」とシミュレーター「Quantum++」を8月9日より提供開始
	9月1日	■ ECU制御ソフトウェア開発者向け学習パッケージ「GTrainer」を9月1日に販売開始 5日間でECU制御ソフトウェア開発者を育成
第3四半期 (参考)	10月14日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ新たに5つの企業・団体が賛同 「HEXAGON」への賛同企業・団体は計21企業・団体に
	10月25日	■ アルサーガパートナーズと国内スタートアップ企業支援・連携について合意 「HEXAGON」を活用して国内スタートアップ企業の製品・サービスを提供
	10月27日	■ Headline Asia・IVSと製造業向けビジネスに取り組むスタートアップの支援で連携 「HEXAGON」を通じた販売機会の提供でスタートアップの成長を加速
	10月31日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ新たに3つの企業・団体が賛同 「HEXAGON」への賛同企業・団体は計24企業・団体に
	10月31日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」新たに賛同企業1社のサービスの取り扱いを開始 パラレルワールド社「ちご塾」「マインドセットセミナー」



Ubiquitous AI